



猫のトレーニング(キャリーケースに慣らす編)

猫は犬と違ってトレーニングできないと思われがちですがそんなことはありません！

猫はとても賢い動物です

今回はトレーニングの基本とキャリーに慣らす方法その1をご紹介します



一番大切なこと



その猫さん、そのご家族によってトレーニングの速度は違います
その子その子にあったスピードでゆっくりとやりましょう

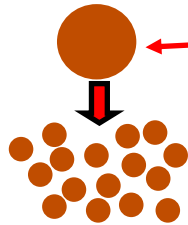
ごほうびを用意



トレーニングする子は何が好きですか？ おやつの場合は小さくちぎって
使います 1日のフードを容器に用意しておけば食べ過ぎを防ぐことが
できます その容器の中からトレーニングも使いましょう

始めの一言を決めましょう

ある言葉をおやつやフードを1粒与えます
言葉は短く言いやすい言葉がいいでしょう
「そう」「OK」「いいね」などがおすすめです

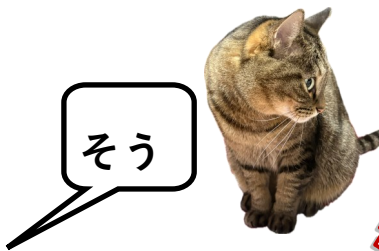


1cm直径のおやつはこれくらい
小さくちぎってあげましょう
1つで何度も教えられます



何度か繰り返します

テストしましょう

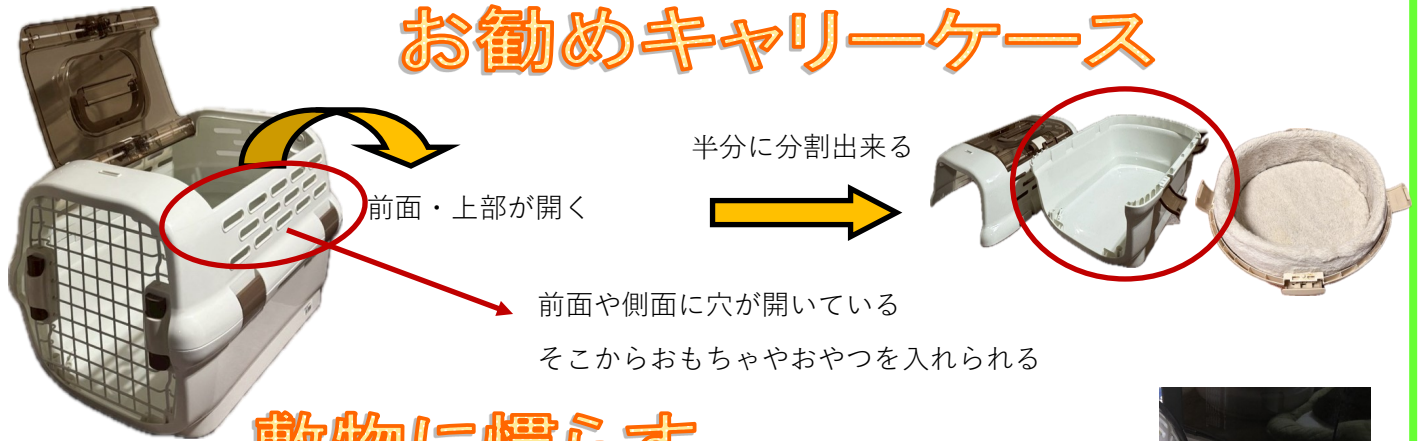


猫さんがあっちを向いている時に決めた言葉を試してみてください
振り向いたら覚えている証拠です



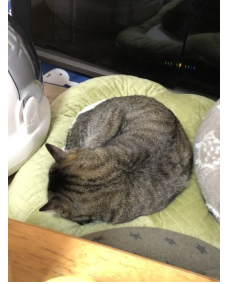
準備はできました

お勧めキャリーケース



敷物に慣らす

まずはキャリーに敷くマットにのってもらい、寝てもらい、気に入ってもらいところから始めましょう



ケースに慣らす

半分に分解して下側を猫さんがいつもいる場所に置いてみましょう
日なたぼっこできるような場所がいいかもしれませんね

ケースに慣れたら

ケースの中に慣らした敷物を敷いて、ねこじゃらしや食べ物でケースに入るように誘導します

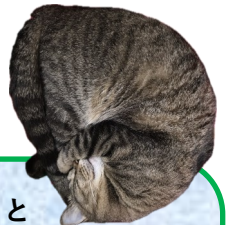


入ったら教えた言葉！

猫さんがケースに入ったら先程教えた言葉を一言いましょう「そう！」
そしてご褒美をあげてください（ケースの隙間からおやつを入れましょう）

扉はまだ閉めないで！

キャリーケースを安全基地だと猫さんに思ってもらうことが大切です
慣れてきたら数秒扉を閉めて、「そう」と言って隙間からおやつを入れ
ましょう そして扉を開けます
徐々に扉を閉める時間を長くしていきましょう



キャリーケースを病院に行くときにだけ使ってしまうと
キャリーケース＝怖い所に行く 恐ろしい物となってしまう
移動中の猫さんのストレスは多大なものになります
いつもの大好きな場所がただ移動しただけ、病院にいるけどここは
「安全基地」と思ってもらいようにしましょう